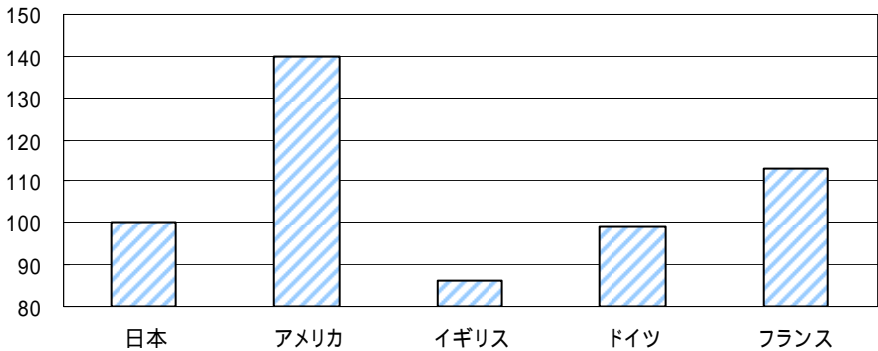


1 経済・経営

1-4 労働生産性水準（GDP ベース、2004 年）

（日本 = 100）



▶ グラフの具体的な数値及び資料出所については、「第1-20表 労働生産性水準」(p.47)を参照。

労働生産性は、購買力平価で評価した国内総生産（GDP）を就業者数で除したものであり、上図は、日本を100とした指数をグラフにしたものである。

上記5か国中、日本はドイツ、イギリスよりも高いものの、アメリカ、フランスよりも低い水準にとどまっている。一般に労働生産性は、産業構造、就業者一人当たり資本ストック（建物・機械等）技術水準等に依存する。日本では、一部輸出産業の労働生産性は比較的高いものの、低生産性部門の割合が高いこと等がGDPベースの生産性が低い要因であると考えられる。